

配電用エポキシモールド成型品

送配電機器・ケーブル接続部の絶縁用途で使用されます

用途

送配電設備を構成する機材では、多様な絶縁材料が使用されており、エポキシ樹脂もその一つです。

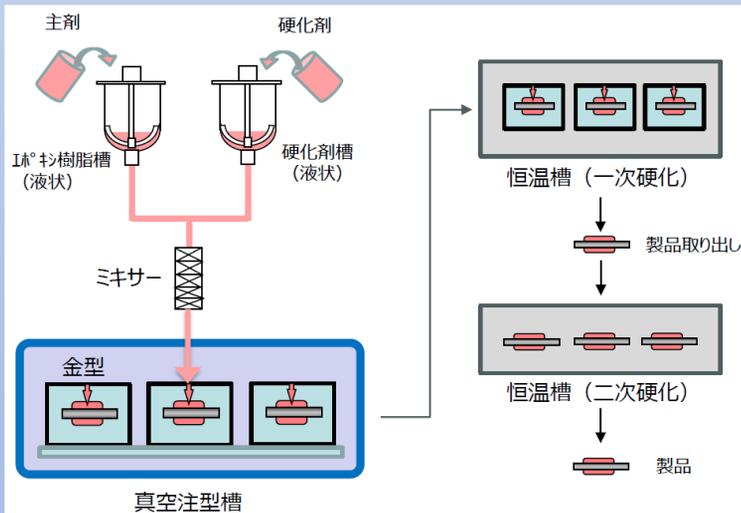
エポキシ樹脂は絶縁性能が優れ、成形性が良好であることから、特に配電用機器やケーブル接続部ではエポキシモールド成型品として多用されています。

- 配電機器用ブッシング
- 配電ケーブル終端接続部の絶縁栓
- 高圧試験用ブッシング
- その他



成形設備

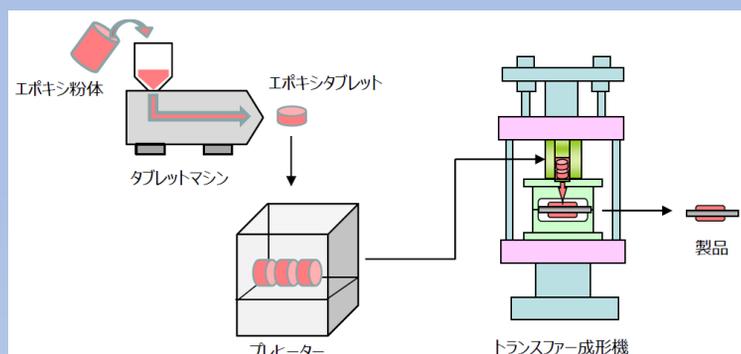
2種類の成型方法があり、製品構造／電圧階級／数量等に応じて適する方法での成型が可能です。



● 真空注型成形機

液状エポキシ樹脂を金型に注入し真空状態として気泡の混入を防ぐ。別の恒温槽にて高温で硬化させる。

- ・ 金型が簡易で安価
- ・ 高い寸法精度
- ・ 複雑な製品形状に対応可能
- ・ 気泡のない製品で品質安定



● トランスファー成形機

粉体エポキシ樹脂を固めてヒーターで軟化させ、高温の金型内に圧力で注入して硬化させる。

- ・ 複雑な金属インサートに対応可能
- ・ 成型時にバリが出にくい
- ・ 成形時間が短い
- ・ 製品コストが安い

製品（例）



【高圧分岐体】

- 地上設置形変圧器塔用
- ケーブル接続・カットアウト分岐



ケーブル接続



【高圧ブッシング】

- 配電機器用（気中・油中）
- 変圧器や開閉器へのケーブル接続箇所
- 高圧試験用ブッシング
- 金属フランジ構造で機器に取り付け



【絶縁栓】

- ケーブル終端接続部用
 - ・ 機器直結型終端接続部
 - ・ 地中／架空ケーブル用終端接続部



ゴム端末と組合わせて使用

※上記以外にも、設計／製造／評価を含めた製品検討も可能です。お困りごとがあればご連絡ください。

